



多世代利用住宅の居住環境マネジメントに関する調査

本調査は国土交通省総合技術開発プロジェクト「多世代利用型超長期住宅および宅地の形成・管理技術の開発（2008～10）」の検討テーマの一つである。

「多世代利用住宅」とは多世代にわたって利用可能な社会的資産となりうる新しい住宅像をいう。「多世代利用住宅」の基盤となる良好な居住環境（相隣環境）に求められる街区レベルの環境性能を確保するため、敷地条件の設定や建築強調ルールによる住環境マネジメントの手法を明らかにした。

発注者 国土交通省、国土技術政策総合研究所

工期 2008～2010年